

○ 全大学院生の研究テーマ

	研究テーマ名	研究の概要
①	慢性腎臓病（CKD）患者における薬物の適正使用に関する研究	CKD患者において、薬物の体内動態、特に代謝・排泄を変動させる要因を解析する。（臨床薬学）
②	糖尿病患者における頭髮中の窒素安定同位体比と炭素安定同位体比及び微量元素の分析	糖尿病患者における頭髮中の窒素安定同位体比と炭素安定同位体比及び微量元素の分析を行い、健常人と比較し、臨床応用への検討をはかる。（臨床薬学）
③	注意欠如多動性障害（ADHD）の病態生理解明に向けた脳機能解析	SHRSP/EzoのADHD様行動への関与が示唆される皮質前頭前野の特性解析を多角的に実施する。（応用薬学）
④	デルタレトロウイルスによる白血病発症機構の解明	デルタレトロウイルスによる白血病発症機構を解明するため、牛白血病ウイルスのインテグレーション部位と白血病潜伏期の関連を明らかにする。（基盤薬学）
⑤	有効かつ安全ながん化学療法を目指した有害事象の解析と薬剤管理指導の実践に関する研究	有効かつ安全ながん化学療法をめざし、支持療法として施行するG-CSF製剤の適正使用の検証とレナリドミド療法の有害事象の解析を行う。（臨床薬学）
⑥	高濃度及び低濃度グルコース環境下における19,20-エポキシドコサペンタエン酸のH9c2細胞への影響	炎症、オートファジー、血管新生、インスリンシグナル伝達などにおける重要な調節因子として注目されているエポキシドコサペンタエン酸のH9c2細胞への影響とそのメカニズムを明らかにする。（応用薬学）
⑦	抗腫瘍性インドールアルカロイドの合成	クロスカップリング反応を用いるピリドカルバゾールアルカロイドの短工程合成法を開発する。（基盤薬学）
⑧	デルタレトロウイルスTaxタンパク質の機能解析	デルタレトロウイルスによる白血病発症機構を解明するため、牛白血病ウイルスTaxタンパク質の構造-機能連関を明らかにする。（基盤薬学）
⑨	末期腎不全患者及び血液透析患者における医薬品の適正使用に関する研究	血液透析患者における医薬品の使用実態に関する多施設共同調査におけるデータ収集と解析を行う。（臨床薬学）
⑩	制がん剤誘起性消化管障害の機序とその対策に関する研究	制がん剤投与による消化器障害ならびに悪心・嘔吐発現機序におけるグルカゴン様ペプチド-2（GLP-2）の役割を検討し、GLP-2の治療薬としての可能性を考察する。（臨床薬学・応用薬学）

注：研究の概要欄

基盤薬学：基礎的な薬学関連分野を中心に研究を行うことにより、医療における基盤的知見を得る研究

応用薬学：人へのスケールアップを志向した動物実験等を中心に行う研究

臨床薬学：人を対象とした臨床研究を中心にした研究

- ・在籍する全大学院生の研究テーマ名及び研究の概要を記載すること
- ・研究の概要については、テーマ設定の着想点、研究成果が薬剤師の実務など臨床に与える影響等を「アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー」との整合性を踏まえつつ、簡潔に記載すること